

令和7年播種（令和8年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔12月15日付調査結果〕

*調査は12月17日に行っている

1. 供試品種および耕種概要（中旬区・下旬区共通）（中旬播種区）

| 供試品種 | 早 生 | 中 生 |
|------|-----------|--------|
| 六条 | シュンライ | ミノリムギ |
| 大麦 | ホワイトファイバー | |
| 小 麦 | | シラネコムギ |
| | | 夏 黄 金 |

- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6.0kg/a
- ・排水対策：暗渠および弾丸暗渠
- ・ほ場条件：沖積埴壤土 転換初年目（前作水稻）

- ・播種期：10月22日
- ・播種量：0.9 kg/a（ドリル播き、条間25cm）
- ・施肥：尿素磷加安777号（N: 0.8 kg/a, P: 0.8 kg/a, K: 0.8 kg/a）
- （下旬播種区）
- ・播種期：10月30日
- ・播種量：1.0 kg/a（ドリル播き、条間25cm）
- ・施肥：（中旬播種区と同じ）

2. 気象概況〔10月～12月第3半旬〕（図1）

- ・平均気温は、10月第1半旬～第2半旬、11月第5半旬～第6半旬が高温傾向で経過し、それ以外の期間は平年並～平年より低く経過した。
- ・降水量は、10月第1半旬、第3半旬～第4半旬、第6半旬、11月第1半旬、12月第1、3半旬が多雨となり、12月第1半旬、第3半旬には降雪があった。
- ・日照時間は、10月第3半旬～第5半旬、11月第2半旬、第5半旬、12月第1半旬、第3半旬が寡照で、10月第1半旬、11月第1半旬、第3～4半旬が多照であった。

3. 生育概況

1) 播種・出芽状況（表1）

- ・中旬播種区の出芽日数は大麦・小麦ともに10日で、平年より1日遅かったが、出芽良否は、大麦と小麦ともに「良」であった。
- ・下旬播種区は、播種後の降雨によって土壤クラストが発生し、出芽日数は大麦・小麦ともに14日で、平年より3日遅く、出芽良否は、大麦と小麦ともに「中」であった。

2) 12月17日現在の生育状況（表2）

中旬播種区

- ・草丈は、シュンライが7.6cm、ミノリムギが8.6cm、シラネコムギが9.7cm、夏黄金が9.7cmで平年を下回った。ホワイトファイバーは9.1cmで前年を下回った。
- ・茎数は、シュンライが257本/m²、ミノリムギが313本/m²、シラネコムギが493本/m²、夏黄金が371本/m²で平年を下回った。ホワイトファイバーは258本/m²で前年を下回った。
- ・葉数は、シュンライが3.9枚で平年差-1.2、ミノリムギが3.9枚で平年差-1.3、シラネコムギが3.9枚で平年差-1.5、夏黄金が4.1枚で平年差-1.0であった。ホワイトファイバーは3.4枚で前年差-1.8であった。
- ・葉色（GM値）は、シュンライが47.0、ミノリムギが51.7、ホワイトファイバーが50.3、シラネコムギが45.9、夏黄金が49.7であった。

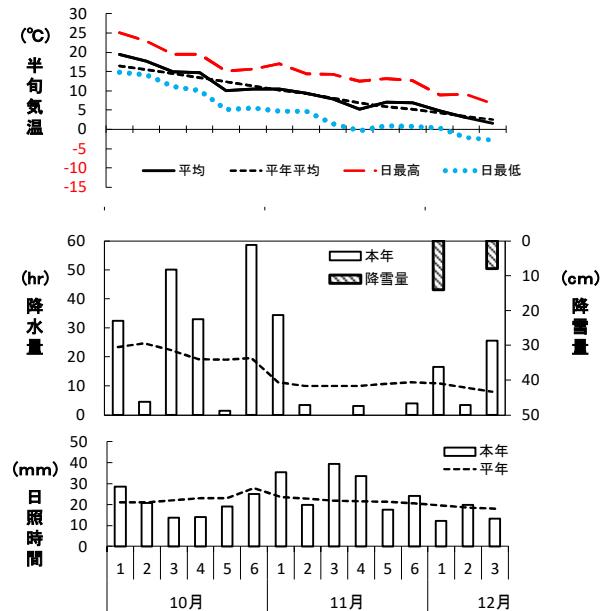


図1：気象概況（古川アメダス）

下旬播種区

- ・草丈は、シュンライが 5.6cm、ミノリムギが 5.9 cmで平年を下回り、シラネコムギが 11.4 cm、夏黄金が 9.7cm で平年をやや上回った。ホワイトファイバーは 6.2 cmで前年を下回った。
- ・茎数は、シュンライが 146 本/m²、ミノリムギが 119 本/m²、シラネコムギが 163 本/m²、夏黄金が 175 本/m²で平年を下回った。ホワイトファイバーは 167 本/m²で前年を下回った。
- ・葉数は、シュンライが 3.1 枚で平年差+0.2、ミノリムギが 2.7 枚で平年差-0.3、シラネコムギが 3.1 枚で平年差-0.3、夏黄金が 3.0 枚で平年差-0.1 であった。ホワイトファイバーは 2.9 枚で前年差-0.8 であった。
- ・葉色 (GM 値) は、シュンライが 48.8、ミノリムギが 47.6、ホワイトファイバーが 49.8、シラネコムギが 43.6、夏黄金が 45.6 であった。

3) 幼穂長及び幼穂分化程度 (表 3)

- ・中旬播種区の幼穂長は、シュンライが 0.42mm、ミノリムギが 0.38mm、ホワイトファイバーが 0.42mm、シラネコムギが 0.12mm、夏黄金が 0.15mm であった。
- ・下旬播種区の幼穂長は、シュンライが 0.19mm、ミノリムギが 0.19mm、ホワイトファイバーが 0.15mm、シラネコムギが 0.11mm、夏黄金が 0.11mm であった。12月 17 日現在、いずれの播種期・品種も、幼穂形成始期には達していない。

4. 栽培管理の状況

- ・播種後はプロスルホカルブ乳剤 (商品名: ボクサー) を散布した。
- ・年内に踏圧を行う予定。

表 1 出芽状況

| 品種 | 区別 | 播種期 | 出芽期 | 出芽日数 | | | 出芽良否 | |
|-----|-----------|-------|-------|-------|-----|-----|------|---|
| | | | | 本年 | 前年差 | 平年差 | | |
| 大麦 | シュンライ | 中旬播種区 | 10/22 | 11/1 | 10 | +4 | +1 | 良 |
| | | 下旬播種区 | 10/30 | 11/13 | 14 | +5 | +3 | 中 |
| | ミノリムギ | 中旬播種区 | 10/22 | 11/1 | 10 | +4 | +1 | 良 |
| | | 下旬播種区 | 10/30 | 11/13 | 14 | +5 | +3 | 中 |
| 小麦 | ホワイトファイバー | 中旬播種区 | 10/22 | 11/1 | 10 | +3 | - | 良 |
| | | 下旬播種区 | 10/30 | 11/13 | 14 | +5 | - | 中 |
| | シラネコムギ | 中旬播種区 | 10/22 | 11/1 | 10 | +4 | +1 | 良 |
| | | 下旬播種区 | 10/30 | 11/13 | 14 | +5 | +3 | 中 |
| 夏黄金 | | 中旬播種区 | 10/22 | 11/1 | 10 | +4 | +1 | 良 |
| | | 下旬播種区 | 10/30 | 11/13 | 14 | +5 | +3 | 中 |

注1)出芽日数:播種翌日から出芽期までの日数。

注2)出芽良否:出芽率 80%以上を「良」、60%以下を「不良」、その中間を「中」とする。

注3) 平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注4) ホワイトファイバーは令和6年播種(令和7年産)から調査を開始したため平年差はない

表2 生育状況

| 品種 | 區別 | 草丈(cm) | | | 茎数(本/m ²) | | | 葉数(枚) | | | 葉色(GM値) | | |
|----|-----------|--------|---------|---------|-----------------------|---------|---------|-------|-----|------|---------|------|-------|
| | | 本年 | 前年比 (%) | 平年比 (%) | 本年 | 前年比 (%) | 平年比 (%) | 本年 | 前年差 | 平年差 | 本年 | 前年差 | |
| 大麦 | シュンライ | 中旬播種区 | 7.6 | 58 | 62 | 257 | 36 | 41 | 3.9 | -1.1 | -1.2 | 47.0 | +6.2 |
| | | 下旬播種区 | 5.6 | 80 | 75 | 146 | 64 | 60 | 3.1 | +0.6 | +0.2 | 48.8 | +6.6 |
| | ミノリムギ | 中旬播種区 | 8.6 | 57 | 65 | 313 | 42 | 50 | 3.9 | -1.5 | -1.3 | 51.7 | +12.4 |
| | | 下旬播種区 | 5.9 | 69 | 72 | 119 | 38 | 46 | 2.7 | -0.3 | -0.3 | 47.6 | +6.0 |
| 小麦 | ホワイトファイバー | 中旬播種区 | 9.1 | 67 | — | 258 | 36 | — | 3.4 | -1.8 | — | 50.3 | +9.5 |
| | | 下旬播種区 | 6.2 | 73 | — | 167 | 52 | — | 2.9 | -0.8 | — | 49.8 | +3.0 |
| | シラネコムギ | 中旬播種区 | 9.7 | 62 | 72 | 493 | 74 | 82 | 3.9 | -1.9 | -1.5 | 45.9 | +5.4 |
| | | 下旬播種区 | 11.4 | 104 | 108 | 163 | 87 | 69 | 3.1 | -0.3 | -0.3 | 43.6 | +4.2 |
| 小麦 | 夏黄金 | 中旬播種区 | 9.7 | 79 | 85 | 371 | 58 | 80 | 4.1 | -1.4 | -1.0 | 49.7 | +6.1 |
| | | 下旬播種区 | 9.7 | 106 | 112 | 175 | 85 | 85 | 3.0 | -0.1 | -0.1 | 45.6 | +3.6 |

注1) 平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 越冬前目標生育量:葉数4~5枚、分け1~2本、茎数400~500本/m²。

注3) ホワイトファイバーは令和6年播種(令和7年産)から調査を開始したため平年比(差)はない。

注4) 葉色は令和6年播種(令和7年産)から測定を開始したため平年差はない。

表3 幼穂長及び幼穂分化程度

| 品種 | 區別 | 幼穂長(mm) | | | 幼穂分化程度 | |
|----|-----------|---------|------|-------|--------|-----|
| | | 本年 | 前年差 | 平年差 | | |
| 大麦 | シュンライ | 中旬播種区 | 0.42 | -0.33 | -0.34 | V未満 |
| | | 下旬播種区 | 0.19 | -0.06 | -0.07 | V未満 |
| | ミノリムギ | 中旬播種区 | 0.38 | -0.25 | -0.19 | V未満 |
| | | 下旬播種区 | 0.19 | -0.08 | -0.09 | V未満 |
| 小麦 | ホワイトファイバー | 中旬播種区 | 0.42 | -0.45 | — | V未満 |
| | | 下旬播種区 | 0.15 | -0.13 | — | V未満 |
| | シラネコムギ | 中旬播種区 | 0.12 | -0.13 | -0.06 | V未満 |
| | | 下旬播種区 | 0.11 | 0.06 | 0.00 | V未満 |
| 小麦 | 夏黄金 | 中旬播種区 | 0.15 | -0.04 | -0.02 | V未満 |
| | | 下旬播種区 | 0.11 | 0.07 | 0.02 | V未満 |

注1) 平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 幼穂長は、中庸な6個体の主茎と1号分け、2号分けの幼穂長の平均値から算出している。

注3) 幼穂分化程度: V期未満は省略。

注4) ホワイトファイバーは令和6年播種(令和7年産)から調査を開始したため平年差はない。

〔参考〕麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

| 品種 | 苞分化期 | 小穂分化期 | | | | 穎花分化期 | |
|-------------|------|---------|---------|---------|---------|---------|---|
| | | V | VI | VII | VIII | IX | X |
| 小麦(シラネコムギ等) | 0.5 | 0.5~0.6 | 0.6~1.0 | 1.0~1.2 | 1.2~4.0 | 4.0~5.0 | |
| 大麦(シュンライ等) | 0.5 | 0.5~0.7 | 0.7~1.5 | 1.5~2.0 | 2.0~4.0 | 4.0~5.0 | |

注1) 幼穂分化程度は I ~ Xの10期に分類されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略した。

注2) 厳密にはVII期は前期と後期に、IX期は前期、中期、後期に区分される。